

りゅうおう

議会だより

No.186

2019年2月1日
滋賀県竜王町議会



- | | | |
|---------|-----|------------|
| 12月定例会 | P2～ | 指定管理者決まる |
| 定例会・臨時会 | P4 | 台風21号大きな被害 |
| 委員会の活動 | P5～ | 国道8号整備促進 |
| 一般質問 | P8～ | 災害に生かせる訓練を |
| 追跡など | P17 | 住宅建設が進む |
| シリーズ | P18 | いきいき人生 |



お餅で広がる笑顔の輪 関連記事…P18

12月
定例会

定例会で何が決まったの？

12月定例会を12月4日から20日までの17日間の会期で開催しました。

指定管理者の指定11議案(P3に詳細を掲載)、条例関係3議案、補正予算13議案、請願1議案、意見書1議案、その他1議案を原案どおり可決・採択しました。

平成30年度一般会計

今回の補正額は、

1億753万円で、

予算総額は、

57億6354万円です。



台風21号による 被災農業者への支援事業費

一般会計
2696万円



ふるさと納税 推進のための経費

一般会計
1560万円

補正予算

主な内容(事業)



路線バス利用者 通学定期補助

一般会計
240万円

- 問** 1、3、6か月定期の補助額は。
答 補助額は通学定期の半額補助で、上限が1か月当たり1万円。

- 問** ふるさと納税の寄付の使い道は何か。
答 主に小中学生の医療費の無償化、路線バス通学定期の補助に充当している。



介護老人福祉施設等 利用者数増加見込みによる経費

介護保険特別会計
4700万円

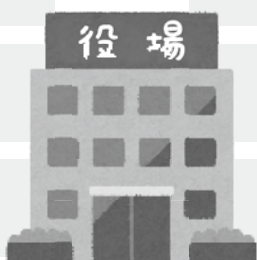
平成31年4月1日から5年間の

町内各施設の指定管理者が決まる

8



指定管理者制度とは
公の施設の管理運営
を、株式会社や財団法人・
NPO 法人などの団体に
包括的に代行させること
ができる制度だよ。



名神高速

竜王
IC



審査での意見

公募・非公募の方針を明確にするとともに、公募の周知方法や公募の期間
を十分に検討されたい。

請願『主要農作物の種子生産にかかる 県条例の制定に関する意見書の提出を求める ことについて』を採択しました。

主な内容

日本の食と農を支えてきた主要農作物種子法が平成30年4月1日に廃止されました。種子法の廃止を受けて、滋賀県では、「滋賀県水稻、麦類および大豆の種子供給に係る基本要綱」が制定されました。

今後も農業者が安心して生産に取り組める環境づくりを行うため、県が種子生産に中心的な役割を果たし、これまで実施してきた施策が継続的に行われるよう必要な予算措置や人員体制を確保し、

基本要綱の条例化を県に求める意見書を提出しました。

主な質疑応答

問 県議会で請願が出されたが不採択になった理由は。

答 県議会では、国に対して種子法に代わる法律を作って欲しいという請願であったと聞いている。



台風21号、公共施設などに大きな被害

平成30年9月4日、台風がまたもや本町にも襲来。今回は強風により公共施設などに大きな被害が発生しました。本臨時会では、この修繕等に必要の費用を審査し、可決しました。補正予算額は、736万円です。

第2回臨時会
(10月12日)

主な内容

- 農業用廃プラスチックの廃棄処理のための費用（負担金）
- ドラゴンハットの防風パネルなどの収納テント修繕費
- 竜王小学校のフェンス修繕費
- 竜王西小学校の校舎および体育館屋根瓦修繕費
- 竜王中学校の換気扇などの修繕費
- 歯科診療所屋根の鼻隠し部分修繕費



台風被害により撤去された物置(竜王小学校)

総務産業建設常任委員会



国道8号整備促進の状況

今日までの動き

- 彦根～東近江区間（約19km）
国道8号の渋滞緩和のバイパス道路について、道路計画3案が示され、地域住民のアンケートを取って、効果予測がされる。
- 野洲栗東バイパス（4.7km）
平成29年度に着手し、平成32年度に完成予定。
- 東近江～竜王区間（約14km）
「国道8号（東近江区間）整備促進期成同盟会」において、国・県に対して道路整備の要望をしている。（要望の区間は、右の地図のとおり）
- 西横関交差点改良
国道8号の右折レーンの延長、国道477号の右折レーンの新設等の工事が平成32年度をめどに完成予定。

主な質疑応答

- 問** 国道8号（東近江区間）整備促進期成同盟会に野洲市が入っていない。野洲栗東バイパスから竜王までの区間の話し合いには野洲市の加盟が必要と考えるが。
- 答** 野洲市への働きかけをする。



地域防災情報システムの運用と課題(福岡県粕屋町)^{かすやまち}

粕屋町は、人口約47,000人（人口伸び率全国1位）のまちです。同町では、平成17年度に防災行政無線を整備されており、防災行政無線導入後の課題を調査しました。



防災行政無線放送室

粕屋町の導入後の課題

- 周辺環境が大きく変化し、難聴地域が多く発生。
- 住宅の気密化などにより、聞きにくい。
- スピーカーが隣接している地域では、音が重なる。
- 情報を聞き取れなかった住民が、発信された情報を後から電話応答装置で得られるように、音声を録音している。しかし、防災行政無線と電話応答装置が連動していないため、毎回録音が必要であり、不便である。

視察を踏まえて

本町の地形、住宅環境、一人暮らしの高齢者、障がい者等の実情に合った、地域防災情報システムの導入が必要であり、今後の調査等に活かしていく。

教育民生常任委員会



竜王町の子育て支援

子育て支援の一つとして、子育て家庭や妊産婦が、教育・保育・保健、その他の子育て支援が円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援が行われています。(利用者支援事業)



こどもひろばで寄り添い方の支援を実施

〈支援のイメージ〉

利用者(保護者)の声

- ・乳児が遊べる場所ってあるの？
- ・子どもに落ち着きがないような気がする。
- ・幼稚園と保育園では、保育料がどれくらい違うの？
- ・子育てがしんどいです。

相談
助言利用者
支援専門員調整
連携等

子育て支援に係る機関等

こどもひろば(社協)
保健センター(地区保健師)
保健センター、発達支援課
教育委員会(教育総務課)
子育てサークル、地区保健師

◎ひとり親家庭への支援

- | | | |
|--------------------|---------|----------|
| ・母子(父子)福祉年金(町単独事業) | ・児童手当※ | ・就学援助費給付 |
| ・母子(父子)家庭福祉医療費助成制度 | ・児童扶養手当 | |

※児童手当は、ひとり親家庭に限らず中学生までの児童を養育している全ての者(所得制限限度額がある)に支給される。



プログラミング教育の取組(東京都荒川区)

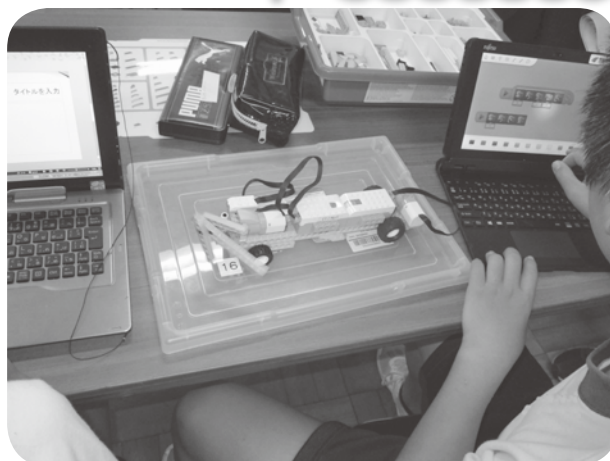
2020年度から小学校で必修となるプログラミング教育の取組について研修するため、竜王西小学校と東京都荒川区の第二日暮里小学校を訪問し、研修しました。

〈感想〉

- ・学校では、プログラミング教育に対応できる教員の養成と指導体制の整備が必要であると感じた。
- ・教師以外にも支援員が必要ではないか。

レゴロボットがストーリー通りに動くか確認しながら▶修正をしていく(第二日暮里小学校)

プログラミングとは、コンピュータにさせたい仕事を順番に書き、コンピュータに指示を与えること。



地域活性化特別委員会

視察

雪国まいたけの企業誘致の取組



(株)雪国まいたけ本社で意見交換



まいたけ栽培工場見学

委員等からの感想等

- 本町は、災害のリスクも少なく物流の観点からもＩＣが近くにあり、小さな敷地面積に魅力があること等をＰＲしている。
- ８区分譲のうち残る１区分画についても早急に誘致実現に向けて、ご尽力いただきたい。
- 上水道に課題を抱えていることがわかり、進入路も含め、今後とも議論する必要がある。

食品製造工場ということで、つなぎ服を着用し、消毒をして見学しました。

11月14日新潟県南魚沼市の(株)雪国まいたけにおいて、視察研修を行いました。滋賀山面工業団地の企業誘致の状況について説明を受け、その後、「竜王町の企業誘致に向けたＰＲ活動」と題して意見交換を行いました。

調査

住宅整備状況【空き家対策】

町内の空き家状況について説明を受け、竜王町空家等対策計画の素案について説明を受けました。



町内の空き家

主な質疑応答

- 問** 高齢者等が施設に入所され、空き家になるケースはあるか。
- 答** 空き家実態調査の結果では、入所や入院がきっかけになるケースはあった。
- 問** 空き家を利用して人口を増やしていく等の議論をしてきたが、空家等対策計画との整合性は。
- 答** 利活用に関する項目と特定空家に対する項目の大きな２本柱で構成され、整合性は取れている。

町政 ここを聞く!

12月定例会では9議員が
16問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
9	森山 敏夫	企業誘致による財政見込みと雇用は 自治会間の連携は
10	森島 芳男	水道事業の民間力の導入は 災害に生かせる訓練を
11	貴多 正幸	「100歳大学」の開設は 重点施策プロジェクトの進捗状況は
12	内山 英作	町の更なる観光振興を 運転免許証返納者への対策は
13	小西 久次	農家の支援制度拡大を 就学前教育・学校教育の今後は
14	山田 義明 松浦 博	小学生の通学バス使用料金の無料化を 祖父川の水害防止対策は
15	岡山 富男	小1 プロブレムの課題は 希望が丘文化公園の利活用は
16	若井 猛志	国民健康保険税の引き下げを 消費税の増税は

一度、傍聴に来て下さい

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会事務局（☎58-3713）にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は3月19日(火)予定

一般質問って?

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ





森山 敏夫 議員

問 企業誘致による 財政見込みと雇用は

答 税収は増加、雇用数は8社で約千人

問 本町の29年度決算は、収入面が前年度と比較して大幅に増となった。工業団地への企業進出が進んでいるが、次の点を伺う。

① 今後の財政見込みは。

② 進出企業の雇用計画と町内定住者の見込みは。

③ 進出企業への住宅等の支援は。

④ 滋賀山面工業団地のインフラ面の課題は。

答

① 進出企業の税収は、すべての区画で企業が操業した場合に、3億5千万円程度を見込んでいる。

ただし、見込額は、計画を参考に、現在の課税状況から、同程度の平均単価等を用いて算出しているため変動がある。

② 両工業団地で11社の企業が決定。そのうち、8社の雇用数は、約1000名。町外からの移住者は、現在5名である。



7区画への企業進出が決定している滋賀山面工業団地

③ 松が丘地先では、民間による住宅建設を進めている。今後路線バスの増便等検討していく。

④ 事業者との協議で、専用水道を前提として工業団地を造成されていると理解しているが、長期的視野で水道施設整備の研究を行う。

問 自治会間の連携は

答 持続可能な地域コミュニティの構築を支援

問 現在、32の自治区を統括する組織として竜王町自治会連絡協議会（通称…自治連）がある。

しかし、有名無実化しており自治会間の連携は困難な状態である。新たな組織や仕組み作りが必要ではないか。

答 自治連は、各自治会を取り巻く課題等を共有し、これからの自治会運営について研修を重ね、自治会間の連携を深めることを目的に設置された。

活動は、年間2回の研修会を実施し、この2年間は各自治会が抱えるより身近な課題解決に向けて議論を重ねてきた。

既存集落のコミュニティの維持は、今後の町づくりには欠かせない重要な課題であり、持続可能な地域コミュニティの構築

に向けて研究を重ね、しっかりと支援していく。



自治連のまちづくり研修の様子

問 水道事業の民間力の導入は

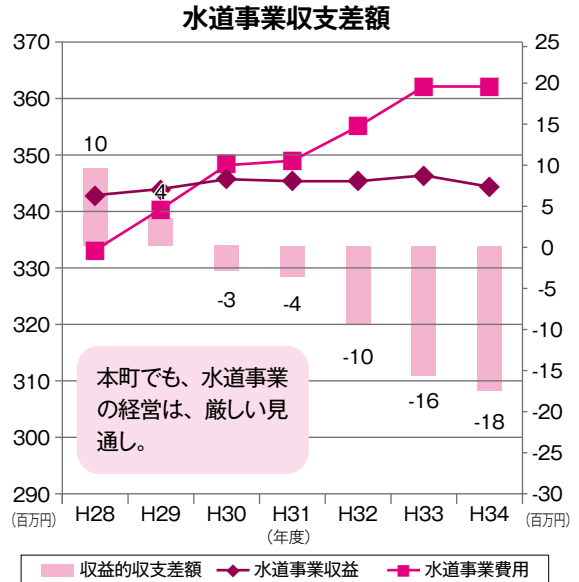
答 今後も民間活力を最大限活用する



森島 芳男 議員

問 水道事業の経営が年々厳しさを増し、設備の老朽化に直面し、課題となっている。国が打ち出した水道事業の基盤強化を目的に、民間への運営権売却に道を開く水道法改正で

答 ①広域連携については、「滋賀県水道事業の広域連携に関する協議会」が設置されており、経営の効率化の推進を研究している。
②老朽化対策は、施設整備の重要度、緊急度、優先度を踏まえ、更新投資を計画的に取り組む。
③官民連携は、民間の技術やノウハウを最大限活用して、事業全体のサービス向上に努めている。



問 災害に生かせる訓練を

答 経験だけに頼らず、避難する大切さを周知

問 水害に対する認識が十分ではないか。河川が決壊した場合は、2階建ての家の屋根の上まで、水没することもあるが、住んでいる場所の浸水想定、また避難のタイミングを知っておく必要があると考える。

答 災害に生かすことができる訓練への指導と周知は。

の見直しを考えている。町民の生命を守ることに最優先であり、災害時には早め早めの避難情報の発令に努める。

経験だけに頼ることなく、まずは避難行動をとることの大切さを今後も周知していく。

また、各自治会へは、自主防災訓練として年一回以上の実施を依頼しており、防災・減災に対する意識は、高まってきていると認識している。

今年度から来年度にかけて竜王町地域防災計画



例年9月に関係機関の協力のもと実施されている総合防災訓練



貴多 正幸 議員

問 「100歳大学」の開設は

答 「健康長寿」に向け研究していく



介護予防教室(をとこ組)

問 老人福祉法が制定された1963年には100歳以上の高齢者数は全国で153人であった。その後、1998年には1万人を超え、2012年に5万人を超え、昨年は69785人と増加している。

このように現在では、人生100歳時代が当たり前のようになってきている。

そこで、県内では東市と湖南市が開設されている100歳大学を本町でも開設してどうか。

答 本町では、100歳大学のカリキュラムに該当するような講座を町が主催する出前講座や社会福祉協議会に委託している生涯現役事業等で実施している。

今後も100歳大学のように高齢者の方に更に関心を持っていただけるよう、それぞれの講座等を包括化していく。また、新たな学びの場として効果的に実施するためにどうすれば良いか、関係する所管課や社会福祉協議会との調整を図り、「健康長寿」を基本とした包括的な取組を研究していく。

問 重点施策プロジェクトの進捗状況は

答 成果に近づくよう鋭意努力していく

問 重点施策プロジェクト17項目のうち、重要な課題の一つである竜王町公共施設等総合管理計画の進捗状況と課題は。

答 「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」「次世代に誇れる竜

王町」を目標として、「今、具体に取り組んでいく課題」や「今後、意識していく必要な課題」に対して、「重点施策プロジェクト」と位置づけて昨年度から、調査検討や施策展開に取り組んでいる。

竜王町公共施設等総合管理計画の推進は、個別計画の策定に向けて県や近隣市町からの情報収集を行い、その手法を検討している。

老朽化した施設は、除却する方向で検討しており、関係団体や地元との調整を行い、跡地の利活用のための議論も含めて進めている。

個別計画の策定には、施設ごとの劣化度や老朽化度の調査や判断、また対策費用の算出が求められており、専門技術を有する職員の配置や組織体制等が課題と考えている。



耐震性が問われる公民館別館(青年団団室)

問 町の更なる観光振興を

答 魅力発信、観光振興に努める



内山 英作 議員

問 中国湖南省には、県内の大手スーパーマーケット(平和堂)が4店舗進出している。先日、「滋賀県湖南省35周年記念式典」に参加した折に、そのスーパーでは県内の特産品を販売する物産展が開催されていた。このような催しで、積極的に海外へ町の特産品をPRしていくことが町のPRと両国の友好親善につながるかと考えるが。



湖南省で開催された「滋賀県物産観光フェア」

答 今回、町内からの出店事業者はなかったが、今後、機会があれば、町内事業者へ積極的な周知を図る。

また最近、県と関係機関が「滋賀への観光客誘致拡大」などを目的に湖南省に拠点を開設するとの方針が出された。これらの動向を注視しつつ、町の魅力発信、観光振興に努める。



サロン事業終了後、フレンドマートへお買い物

問 運転免許証返納者への対策は

答 対応策を検討中

問 ①町内の運転免許証返納者の人数は。
②外出支援に対する町の対策は。

答 ①平成29年1月から12月末の1年間で34人、平成30年は1月から10月末時点で29人である。

②現在、免許を返納された方が利用できる交通手段は、路線バスやタクシー、要支援・要介護認定などを要件とする福祉有償運送スマイル、地域支え合いしくみづくりモデル事業実施の自治会での外出支援などがある。

町では公共交通のあり方の中で免許証返納者への対応策も検討している。



小西 久次 議員

問 農家の支援制度拡大を

答 支援策を講じる

問 本町の総農家数は619戸で、専業農家は54戸、兼業農家が509戸で約82%を占め小農・家族経営が大半である。

答 ①認定農業者が64経営体である。内訳は、集落法人19、個人経営37、それ以外の法人が8である。集落法



台風被害と高齢化で縮小されるため取壊しを待つハウス

問 町内では農業法人化が進んできているが、まだまだ家族経営体農業が多い。しかし、集落営農では、高齢化により若者が参画しにくい現実があり運営が難しくなっている。結果、家族経営が続くと予測されるが、

①農業経営体の現状は、

②営農継続のため魅力ある農業の独自支援をしているが、支援項目を増やす検討は、

人は、水稲・麦・大豆で他の8経営体は畜産や蕎麦を主にしている。個別経営体では、水稲・麦・大豆が主であり、ハウス野菜や果樹を取り入れた複合経営により経営の安定を図られている。

②今年度、支援項目を追加したが、小規模農家を含む既存農家に対する支援等の意見があり、今後何らかの支援策を講じたい。

問 就学前教育・学校教育の今後は

答 保護者等のニーズを把握し検討する

問 1年前も同様の質問をし、「スピード感をもって検討する」との回答を得たが、その後の状況は、

①平成30年の出生状況と来年度の幼稚園と保育園の申込みは、

②子ども未来会議での幼保一元化の検討状況は、

③子育て支援ニーズ調査が行われたが、その状況は、

④10月から幼児教育が無償化されるが町への影響は、

⑤教育施設の今後のあり方検討委員会の検討状況は、

答 ①1月から11月末まで68名が出生。次年度申込は、幼稚園で3歳児34名、4・5歳児で新規が各1名

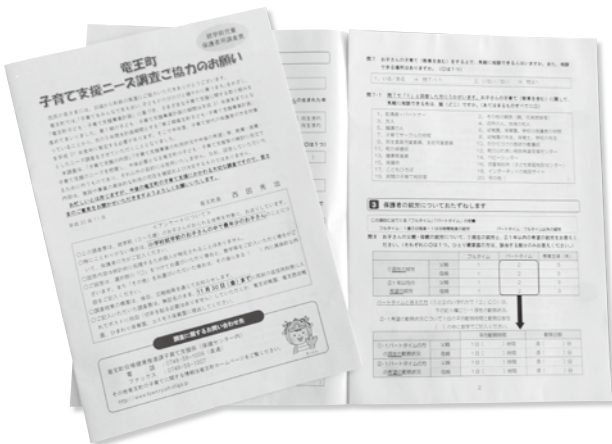
で合計155名、保育園については、0歳児23名、1歳児39名、2歳児49名、3歳児39名、4歳児46名、5歳児44名、合計240名。

②再編成案の例示を意見書として示された。町としては、保護者ニーズを的確に把握するため、保護者に聞き取っている。

③973通のうち、59%の回答があり分析中である。

④制度の詳細がまだ決定されていないため影響は計り兼ねる。

⑤12月20日に報告書の原案を協議し、平成31年2月中旬には町長に報告書を提出する予定となっている。



子育て支援ニーズの把握のため、11月に実施された調査



山田 義明 議員

問 小学生の通学バス 使用料金の無料化を

答 利用に対する一定の負担を

を使用している。
使用料金は、一人当たり月額1200円で運行に係る経費の1割弱である。利用に対する一定負担として引き続き理解をお願いしたい。

問 小学校の位置によって、通学バス使用料を支払わなければならない家庭とそうでない家庭が発生するのはいかがなものか。
義務教育を受ける児童の通学バスの使用料金は無料にすべきと思うが見解は。

答 徒歩通学は、子どもの心身、成長に大きな意義があると考えている。一方で交通・防犯での安全面等を考慮して、小学1・2年生は、集合場所から小学校までの距離が3km以上、3年生以上では4km以上となる区域の児童を対象に通学自動車



今年度は、約70人の児童が通学バスを利用している



松浦 博 議員

問 祖父川の水害防止対策は

答 連携を密に取り組む



浚渫工事を待つ祖父川(岡屋地先)

問 ①以前の質問に対し、「今後も上流域から土砂が流入することから、継続的な河床整正と堤防補強を河川管理者に要望する」と回答されたがその後は。

②上流にあたる湖南市との台風や豪雨時の情報共有など連携は。
③上流域の雨量と下流域の水位上昇の相関関係は。
④「流す対策」は。

答 ①岡屋地先、薬師地先の浚渫工事と鵜川地先、岡屋地先の遮水矢板工と堤防整形工が実施された。

②湖南市による河川の巡回の結果を得ている。引き続き情報の共有を図っていく。
③簡易雨量計により、湖南市西峯町で降雨が記録され、概ね1時間後に町内の祖父川で水位が上昇することが判ってきた。
④河道内で緊急性の高い箇所は、浚渫、草木伐採を要望していく。



岡山 富男 議員

問 小1プロブレムの課題は

答 指導支援の充実に努める

小1プロブレムとは、小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中座ってられない、話を聞けないなどの状態が長く続くことを言います。本町では、全体としては、落ち着いた状態で、大きな課題となっていません。



答 少人数学級編制や支援員等の配置による一人ひとりに応じたきめ細かな指導・支援体制の充実に努めている。さらに、1年生はもとより全学年を対象に、特別支援教育支援員や生徒指導補助員を配置するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー

問 小1プロブレムが、一層深刻な問題となっているが、これに対する教育委員会としての考えは。

カー等の専門家の配置も行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応できる指導や支援体制を整えている。

また、園と小学校が連携協力して、幼児期の保育と小学校の教育との違いや変化を小さく滑らかにし、子ども達が小学校の生活や授業に適応できるようにすることが大切である。そのために、交流活動や連続性のある教育カリキュラムを充実させるよう指導や助言に努めている。



落ち着いた授業風景

問 希望が丘文化公園の利活用は

答 検討すべく県に要請していく



竜王・野洲間の園内道路

問 県では、平成30年3月に「希望が丘文化公園基本計画」が策定された。同園の立地から周辺の地域活性化をするために、次の点について伺う。

竜王インターチェンジの利便性を活かすため、東口への進入路を拡幅するなどアクセスを良くし、野洲・竜王間を結ぶ園内道路を利活用できるよう県に要望しているのか。

答 竜王インターの利便性を活かし、野洲・竜王間の移動距離が短縮されるなど、また、滋賀竜王工業団地の防災拠点と「希望が丘文化公園」が担う県の災害拠点とのアクセスの観点から園内道路の利用は効果が大きく必要であると感じたところである。

今後も引き続き、園内道路の利活用について、要請していく。

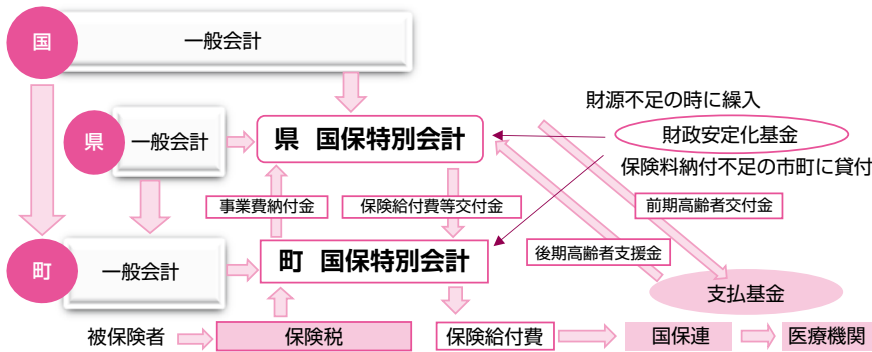


若井 猛志 議員

問 国民健康保険税の引き下げを

答 負担を減らせるよう検討している

現在の国保財政のイメージ



①滞納の主な原因は、所得の減少や納め忘れ、所

問 ①国民健康保険税滞納の原因は。
②来年度の国民健康保険税の試算状況と引き下げの検討は。
納税意識の個人差等が考えられる。
②平成31年度の試算状況は、県からの納付金額等に基づき、試算を進めているところ。被保険者の負担を少しでも減らせるよう、財政調整基金からの繰入も検討している。

①本町における影響については、前回の引き上げ時には、消費の落ち込みなどの影響が大きかったと言われており、今回も同様のことが懸念される。消費税の増税は社会保障の充実と安定財源の確保と認識している。
②インボイスについては対応が必要になる。

①10月に消費税率が10%に引き上げられる。消費税率の導入は、「社会保障対策」が理由であったが、実態を見れば消費の落ち込みや、景気の悪化を招いてきた。消費税増税による本町への影響は。
②町内業者はインボイスに対応できるのか。

問 消費税の増税は
答 やむを得ない

軽減税率の対象品目の線引き

				8%の税率
ペットボトルの水	ノンアルコール	みりん風味調味料	ファストフードの持ち帰り	
				10%の税率
水道水	ビール	みりん	店内飲食	

インボイスとは、8%と10%税率を取引ごとに区分した請求書のこと。



ポイント還元と複数税率がセットになることで、①買う商品 ②買う店 ③買い方の組み合わせで、税率が5段階になる。



追跡!!

あの一般質問は その後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

小口地先民間開発の住宅整備の進捗状況は

(平成29年第4回定例会での一般質問より)

問

住宅確保対策として、小口市街化区域では、どのような取組をされるのか。

答

小口市街化区域内においては、民間による段階的な住宅地整備を行い、今後建築される計画である。

◎その後

造成工事が行われ、今年に入り建築工事が進められている。

現在、単身者用と家族用の2棟が建設され、入居状況によっては更なる建設を予定。



小口市街化区域で建設が進む住宅

布引斎苑施設(火葬棟)完成 12月6日より稼動

八日市布引ライフ組合

平成29年12月から火葬棟の工事が始まり、平成30年12月5日に完成しました。翌日から、旧愛東町と旧湖東町地域も組合に加わり、施設の供用が開始されました。

今後、待合棟の建設が進められ、平成31年12月の全体整備の完成をめざします。

施設の概要

- ・火葬棟 鉄筋コンクリート1330.44㎡
炉6基、炉前ホール、告別・収骨室
- ・総事業費 15億4980万円



告別ホール



火葬棟全景

八日市布引ライフ組合…東近江市、竜王町、日野町の3市町で構成された組合です。火葬業務や汚泥処理などを共同で行うため設置されています。

シリーズ いきいき人生

七里在住
すが はら たか ゆき
菅原 貴之 さん

学びと歩みのために



私は、七里の円覚寺に住職として入寺させていただきました。

円覚寺は、住職不在の時期が数年間あり、先代住職までの法務を、記録を基に確認するとともに不在時に関わっておられた住職さんにも教えていただき、年間の法要を整えました。

今日までの法要の中で、凛として心穏やかな顔をされている参拝者の方々とお出会いしたことで私自身も一緒に、仏様の前に座ることで、日常生活では感じることもない「無条件で座ること、居ることが出来

る安心感」をより多くの方に感じていただきたいと思います。

そこで、年齢、性別を問わず「安心感」を感じていただける1つの機会としてヨガを始めました。

ヨガを始めて数年、ご参加の方から世間話のもとより、抱えておられる思いを皆さんにお話され共有する機会も頂くようになりました。

そして、ヨガを通して「ほっとしていただける」と思っていた場から、お話をされなくても、思いをお持ちいただき、その思いと真摯に向き合い、心をほどいていただける場となっていたことに私はヨガをして良かったと思われました。

その後は、口コミから地元のスポーツ少年団の皆さんが坐禅をされたり、未婚の方の出会いをお手伝いさせていただいたり、どなたでもお越しいただき、ご自身を見つめる機会づくりとして取り組んできました。

私も、その場に出会い、気持ちを引き締められると同時に元気を頂き、大変貴重な学びの場とさせていただいています。

これまでのご縁のあった皆様には心から感謝するとともに、これからも皆様と学び、歩みを進めさせていただきたいと思っています。

美松台地区では、例年年末に「餅つき大会」が開催され、地域の福祉活動として、7年前から実施されています。

餅つきは、臼と杵を使い、お年寄りから子どもまで多くの方々が参加されます。

餅つき体験を終えた子ども達は、つくたての餅をおいしそうに頬張ります。傍で見守る両親とその様子を笑顔で見ているおじいちゃんおばあちゃんの様子がとてもほほえましく印象的でした。

また、参加できなかった高齢者にも、餅を配り、大変喜ばれていました。



表紙

編集後記

役員の改選から早くも議会だよりの発行も5号目を迎えました。

毎回、町民の皆さんに親しんで読んでいただけるよう、紙面に工夫を凝らしながら、作成をしています。

また、毎年広報紙の評価（クリニク）を専門家にしてもらっています。竜王町の議会広報特別委員会には、各地から視察に来られ、双方の広報紙の作り方を学んでいます。

これからも、より一層読んでいただける紙面作りをしていきます。

議会広報特別委員会

委員長	内山 英作
副委員長	古株 克彦
委員	菱田 三男
委員	小西 久次
委員	若井 猛志
委員	貴多 正幸



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています